

平成20年度・地域密着型金融の取組み結果について

平成19年8月24日に一部改正されました「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」に伴い、地域密着型金融の今後の取組みは、プログラム形式をとらず、同監督指針に盛り込まれ恒久化されました。

そこで、同監督指針における趣旨・要請等を踏まえ、「地域密着型金融推進計画」および平成19年度から平成20年度の2年間における「アクションプログラムに基づく個別の取組み」を策定し、実施スケジュールに基づいて「地域密着型金融推進計画」を積極的に実践してまいりました。

平成20年度の具体的な取組み状況につきましては、以下のとおりでございます。

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援機能等の強化

動機	営業地区内において、新たに事業を起そうとする意欲のある方へ、情報の提供と創業等資金の支援により、地域経済の活性化に寄与したい。
内容	創業を計画・準備している独立意欲のある方または創業後2年以内の事業者へ開業資金、開業後の運転・設備資金等を融資しています。(商品名:あぶくまサポート・創業者支援資金) 信用保証協会、TKC会計人、日本政策金融公庫等の外部専門機関との連携を強化し、創業・新事業を側面から支援しています。
成果	平成20年度・あぶくまサポートの実績 ・新規実行 2件 10百万円・融資残高 11件 24百万円 (金額等の融資条件に合致していない場合、プロパー資金で対応した案件もあります。) 外部専門機関との協議会・交流会等参加により、創業・新事業支援に係る情報交換を行っています。 ・信用保証協会との協議会・TKC経営革新情報交換会・TKC相馬部会定期総会 ・TKC福島県支部定期総会・TKC会計人との第9回交流会・TKC経営革新セミナー2008 ・日本政策金融公庫との協議会 日本政策金融公庫との連携融資実績(創業・新事業支援を含むすべての実績) ・平成20年度 5件 62百万円・覚書締結後の融資実績累計 59件 719百万円

要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化

動機	地元企業の育成・振興は、地域における当金庫に期待される重要な役割であり、取引先企業の経営改善を支援・指導することにより、企業の経営悪化を防止し、財務内容の健全化に資するものとした。
内容	経営支援企業を選定し、アドバイス等のサポートをすることにより、当該企業の健全化を図っています。 営業部店長を経営支援責任者とし、本部担当部署と協力して指導・支援にあたっています。 平成20年度の経営支援企業は59先を選定。(ランクアップ支援21先、ランクダウン防止38先)
成果	経営支援企業59先のうち、平成21年3月期におけるランクアップ企業は9先、ランクダウン企業は2先。

事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

ローンレビューの徹底により、担保・保証に過度に依存しない融資の推進

動機	事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法として、スコアリングモデルを活用した融資は有効であり、ローンレビューの徹底により、担保・保証に過度に依存しない融資等への取組みを実践したい。
内容	ローンレビューの徹底により、企業信用格付をベースとしたスコアリングモデルを活用し、担保・保証に過度に依存しない融資を推進しています。 スコアリングモデルを活用した融資商品は次のとおりです。 ・あぶくまサポート2000&5000・TKC経営者ローン・あぶくまビジネスローン ・あぶくまエクスプレス3000&800・あぶくまパワーサポート(事業資金カードローン)
成果	平成20年度のスコアリングモデルを活用した融資実績 ・新規実行 188件 1,537百万円・融資残高 974件 3,929百万円

平成20年度・地域密着型金融の取組み結果について

目利き能力の向上、人材の育成

動機	地域密着型金融推進のための態勢整備を図るため、利用者ニーズに対応できる十分な金融手法や各種事業の知識を持った人材を育成したい。
内容	(社)全国信用金庫協会、(社)東北地区信用金庫協会、(社)福島県信用金庫協会主催の研修へ積極的に職員を派遣し、さらに、研修受講者を講師とした庫内研修会を実施し、人材の育成を図るとともに、利用者ニーズに対応できる目利き力を修得させています。
成果	目利き力を修得させるため、下記研修に職員を派遣しました。 ・融資推進講座およびフォロー研修(外部講師)・目利き力養成講座(地区協) ・目利き融資推進講座(県協)・自己査定研究講座(全信協)

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域を担う若手経営者・後継者に対する情報提供機能の強化

動機	地域を担う若手経営者・後継者に対する情報提供機能の強化に向けた取組みを継続的に行い、地域経済へ貢献したい。
内容	あぶくま元気塾を開催し、地域を担う若手経営者・後継者にビジネスマッチングの場を提供、さらに経営に有益な各種情報を継続的に提供しています。
成果	平成20年度のおぶくま元気塾活動状況は次のとおりです。 ・資料配布・福島大学一日体験入学・ビジネス&テクノ東北2008視察研修・第6回総会および講演会開催

平成20年度 経営改善支援先の取組み実績

(単位:先数)

		期初債務者数	うち 経営改善支援取組み先 ()	のうち 期末に債務者区分がラ ンクアップした先数 ()	のうち 期末に債務者区分が 変化しなかった先()
	正常先	1,328	-	-	-
要注 意先	その他要注意先	297	55	6	46
	要管理先	26	4	3	1
	破綻懸念先	27	-	-	-
	実質破綻先	55	-	-	-
	破綻先	8	-	-	-
	合計	1,741	59	9	47

- ・ 期初債務者数及び債務者区分は20年4月当初時点で整理しています。
- ・ 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・ には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は にも含めるものの にも含みません。
- ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は にも含めます。
- ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
- ・ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。